

戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)



SOLVE for SDGs

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」 2020年度公募への提案にむけて

プログラム総括 関 正雄

明治大学 経営学部 特任教授

損害保険ジャパン株式会社 CSR室 シニア アドバイザー

今日お話しすること

- 1 . 今、世界で起きていること
- 2 . 私たちがなすべきことは何か
- 3 . 本プログラムが目指すもの

持続可能な開発目標 (SDGs)

2016年～2030年までの間に達成すべき17の目標(ゴール)と
169の(具体的)ターゲット

「トランスフォーメーション(大変革)」”Transformation”
「誰ひとり置き去りにしない」 “Leave No One Behind; LNOB”



今、世界で起きていること

・ 迫られる「トランスフォーメーション」

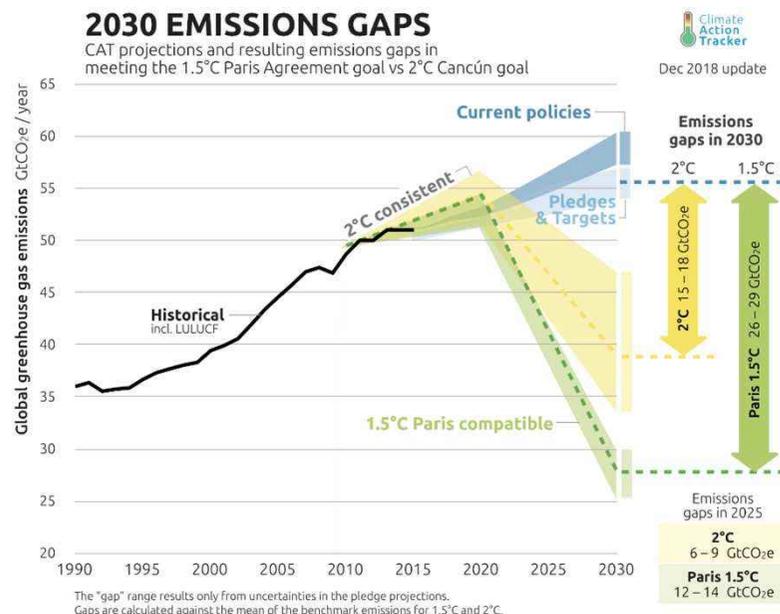
イノベーション（変革）を越えた、脱炭素社会への移行

気候変動・環境

スウェーデン議会前の
グレタ・トゥーンベリさん



出典：Wikipedia



自然災害・
防災

“社会を
レジリエントに”

気候科学に基づいて、政策、ルール、企業行動、ライフスタイル等々、システムチックな変化を起こすことが求められている。気候変動への適応にも、より一層力を入れる必要がある。

今、世界で起きていること

・「誰ひとり置き去りにしない」

包摂的な経済成長、人間の尊厳を守る社会を実現

貧困・格差拡大

「26人と38億人」、「80%と1%」

出典：OXFAM “Public good or private wealth?” 2019.01

<https://www.oxfam.org/en/research/public-good-or-private-wealth>



すべての人に清潔な水を。WaterAid ウォーターエイドジャパン

出典：ウォーターエイドジャパンのホームページ <https://www.wateraid.org/jp/>

貧困には様々な側面があり、他の目標との関連性が重要。
気候変動の影響を最も受けるのは、脆弱な貧困層であることに留意。

脆弱な人々
への着目

“ダウンサイド
リスク”

今、世界で起きていること

・「人間の安全保障」への取り組み

人間をとりまく脅威に、全てのアクターがともに立ち向かうこと



パンデミックによる生存脅威と経済危機

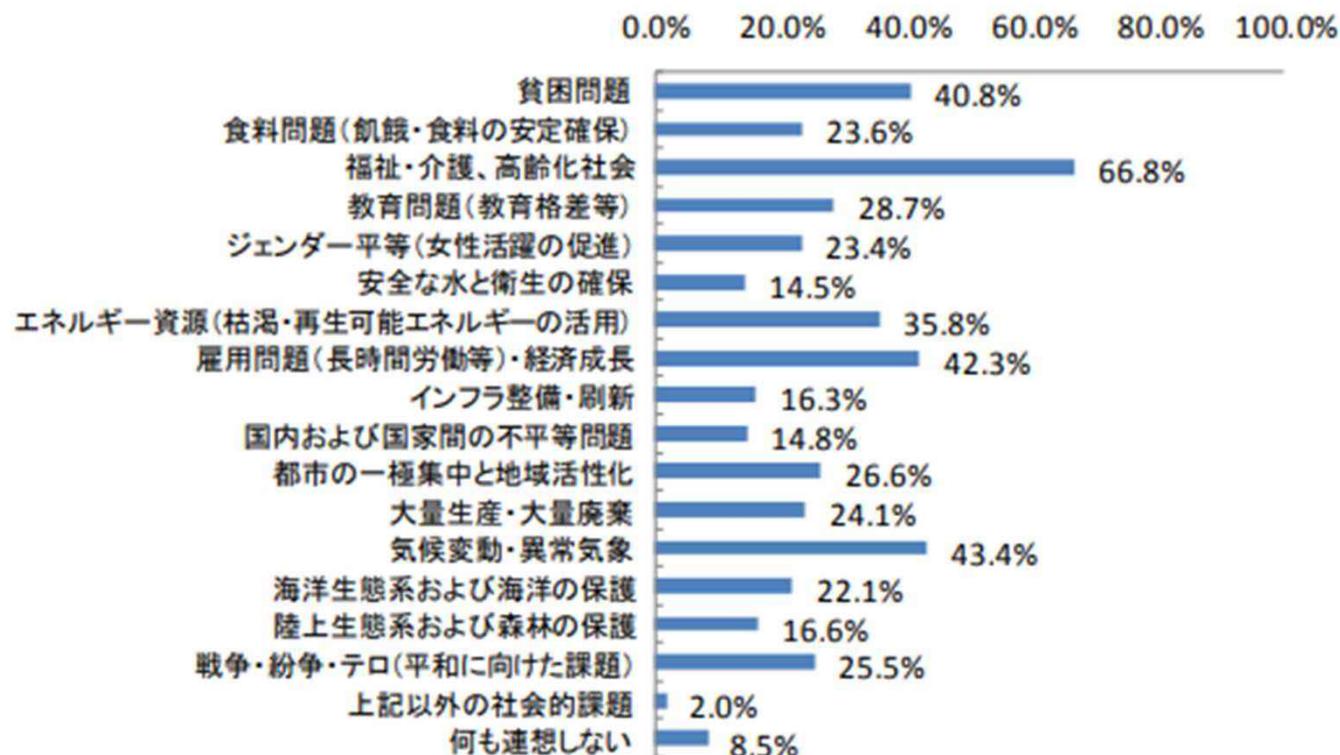
“新型コロナウイルス感染症の蔓延”

出典：日本経済新聞 新型コロナウイルス感染世界マップ（2020年3月22日現在）
<https://vdata.nikkei.com/newsaraphics/coronavirus-world-map/>

- ・ グローバルパートナーシップの強化 - 感染症の蔓延を食い止め（対策措置、医療資材、治療薬・ワクチンの開発等）
- ・ レジリエントな仕組作り - 強靱なインフラ構築、有力な経済回復対策

“課題先進国日本”

SDGs17目標の中で、国内の「社会的課題」と聞いて連想するもの（一般市民向けアンケート調査）



出典：「社会的課題・SDGsに関する意識調査」 損害保険ジャパン日本興亜株式会社（2019年8月）

私たちがなすべきこと

共通言語となったSDGsの視点で課題をとらえなおし、長期的な視野に立って、政府、学界、産業界、市民社会、消費者、労働界、メディアなどが、知恵と行動力を結集し、グローバルな課題、ローカルな課題を解決していく。

- ・ STI（科学技術イノベーション）を有効な手立てとして活用する
- ・ 科学技術を人と社会の未来のために用いて、課題解決力とする
- ・ 革新的なデジタル技術AI、IoT、ビッグデータ、5G、ロボティクス、ドローン、ブロックチェーンなどの活用も

“Society 5.0”

- ・第5期科学技術基本計画で掲げられた、日本の新しい成長モデル
- ・デジタル技術も活用した、人間中心の超スマート社会

新たな社会
“Society 5.0”

5.0



4.0

内閣府作成



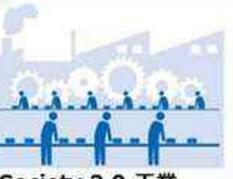
Society 4.0 情報

1.0

Society 1.0 狩猟

2.0

Society 2.0 農耕



Society 3.0 工業

3.0

内閣府作成

経済発展

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 国際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

社会的課題の解決

- 温室効果ガス（GHG）排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 社会コストの抑制
- 持続可能な産業化
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供

「Society 5.0」へ

経済発展と社会的課題の解決を両立

出典：内閣府ウェブサイト https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

Society 5.0 for **SDGs**

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



経団連はSDGsを支援しています。

出典：経団連ウェブサイト <https://www.keidanren.or.jp/policy/cgcb/2017shiryoy2.pdf>



本プログラムが目指すもの(1)

プログラムの目標

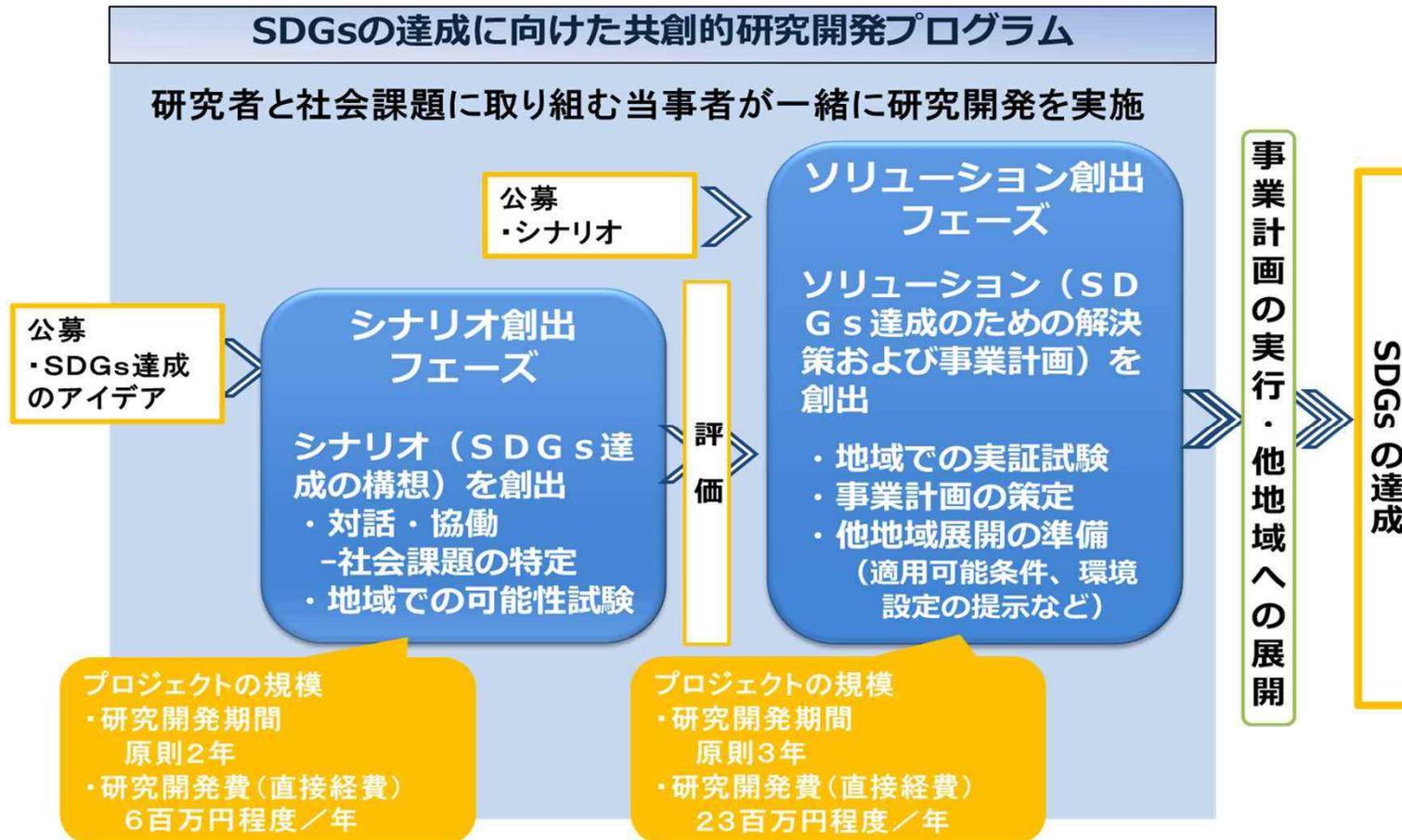
STIを活用して**特定の地域における社会課題を解決し、その成果を事業計画にまでまとめ上げ、国内外の他地域に展開可能なソリューションとして提示すること。**

- ・ 外部環境や科学的知見を起点とする、“Outside-in”
- ・ 目標から逆算してなすべき事を考える、“Backcasting”
- ・ 技術ドリブンではなく技術シーズを基盤とした、“ソリューション・ドリブン”
- ・ SDGs各目標間の相互関連やトレードオフ、シナジーに留意



本プログラムが目指すもの(2)

- ・ マルチステークホルダー共創によるプログラム推進
- ・ 研究者と社会課題に取り組む当事者が一緒に研究開発を実施





本プログラムが目指すもの(3)

- ・ プログラム総括・プログラム総括補佐・プログラムアドバイザーらによる機動的なハンズオン・マネジメントを行います。
- ・ 社会的インパクトがあり、意味のある変化を起こすためのさまざまなシナリオ創出、ソリューションを創出することを支援します。

プログラム総括

関 正雄

明治大学 経営学部 特任教授

損害保険ジャパン株式会社 CSR室 シニア アドバイザー

プログラム総括補佐

川北 秀人

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表

奈良 由美子

放送大学 教養学部 教授



本プログラムが目指すもの(3)

• プログラムアドバイザー

令和2年3月現在

浅田 稔（大阪大学先導的学際研究機構共生知能システム研究センター
特任教授）

岩田 孝仁（静岡大学防災総合センター センター長 / 地域創造学環 教授）

窪田 順平（大学共同利用機関法人人間文化研究機構 理事）

河野 康子（一般財団法人日本消費者協会 理事）

田中 泰義（毎日新聞編集編成局暮らし医療部 部長 / 日本環境ジャーナリ
ストの会 理事）

長澤 恵美子（一般社団法人日本経済団体連合会SDGs本部 統括主幹）



本プログラムが目指すもの(3)

- プログラムアドバイザー（続き）

萩原 なつ子（立教大学社会学部 教授 / 21世紀社会デザイン
研究科教授 / NPO法人日本NPOセンター 代表理事）

日比谷 潤子（国際基督教大学 学長）

平田 直（東京大学地震研究所地震予知研究センター センター長・教授 /
国立研究開発法人防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス
研究センター長）

藤江 幸一（横浜国立大学先端科学高等研究院 客員教授・研究戦略
企画マネージャー）

山内 幸治（NPO法人ETIC. 理事 / 事業統括ディレクター）

善本 哲夫（立命館大学経営学部 教授）



SOLVE for SDGs

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム

- ・ みなさまのご応募お待ちしております。

提案〆切：2020年6月3日（水）正午

問い合わせ先：boshusolve@jst.go.jp

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム 公募担当
（科学技術振興機構 社会技術研究開発センター / 「科学と社会」推進部）